

【V2ガンダムイマジンフルバーニアン】

いよいよ開催直前、第8回ガンプラバトル選手権世界大会！ HH編集部が注目選手＆ガンプラを紹介する今回は、前大会で鮮烈な復帰、そして名勝負を繰り広げた天才ビルダー、ジュリアン・マッケンジー氏の新作、V2ガンダムイマジンフルバーニアンに焦点を当てる。本物による本物の出来映え……いや、ホントにこれが本物のだった！

FRONT [正面]

REAR [背面]

■HGイマジンという機体名称、ベース機となったV2ガンダムの選定から見て、ジュリアン氏が前大会で使用していたガンダムF91 イマジンの後継機であることは明白だ。V2ガンダムにはアサルト、バスターの換装用パーツが存在していたが、本機はこれらとはまた違う密度感の向上を用いている。



REAR [背面]

SIDE [側面]

本  
 源は  
 郷  
 音  
 を  
 V2  
 GUNDAM  
 IMAGINE  
 Fullburner  
 1/144 SCALE PLASTIC KIT  
 "HIGH GRADE(4-SCRATCH)"  
 MODELED BY JULIAN MACKENZIE

第8回  
 世界大会の  
 注目機体は  
 これだ!!

奏  
 天  
 で  
 そ  
 し  
 て  
 幾  
 多  
 の  
 心

上下でVを描く4枚の光の翼が発生する特約的な背面は、ミノフスピードライプの増設が行われた手先の証である。単独の、さらにはさらなる形態のモビルスーツには前例のない姿を見せることもあろうが、忘れてならないのはV2ガンダムイマジンフルバーニアンを作ったガンブラリアー、そしてそれを駆るガンブラファイターは、かつて3代目メイジン・カウグチに一番近い男と評されたジュリアン・マッケンジーなのである。本機がどのようなバトルを見せてくれるのか期待しよう。

本源は郷音を  
 奏で、そして幾多の  
 V2  
 GUNDAM  
 IMAGINE  
 Fullburner



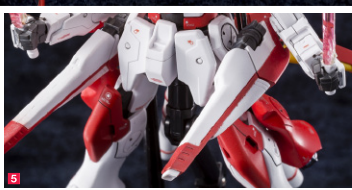
V2ガンダムイマジンフルバーニアン  
 機体解説

「機動戦士Vガンダム」に登場するV2ガンダムをベースとしたジュリアン・マッケンジーのガンブラ・バトルフィールドを踏まえ、空間全体を立体的に機動するための推進力強化が図られている。第7回ガンブラバトル選手権世界大会で彼が使用したガンダムF91イマジンとのコンセプトをさらに押し進め、昇華させた正統後継機とも呼べる存在であり、バトル界の舞台上に完全復活したジュリアンの天才的な実力を余すことなく具現化する。

V2 GUNDAM  
 IMAGINE Fullburner



000000二刀流の高出力ビームサーベル、トップヘビーのウエイトバランスを解消すべく増設された脚部バーニア、長時間のカスタマイズが光る中で、膝部にはF91のヴェスパーが変わらぬ輝きを放つ。「やはり一番使い慣れたメインウェポンですので、これは外せません」とジュリアン氏。格闘モーションを阻害しないよう着崩ギミックを組み込んでいるそうだが、これに関しては氏の謙遜に過ぎないだろう。彼の技量なら、ヴェスパー自体すらAMBACの可動肢の一つとして容易く使いこなすはずだ。





カナダ **ジャスティン・フォックス**  
ガンブラ **「ホワイトベーストライク」**

カナダの世界的ガンパコビルダー、ジャスティン・フォックス氏はガンブラレースバトルに向け、ホワイトベースをストライク(ストライクじゃない!)仕様にかスタムするという選択を行った。ガンダムがまたがることで、木馬と呼ばれた宇宙戦艦は意味の鉄拳へと生まれ変わったのだ。

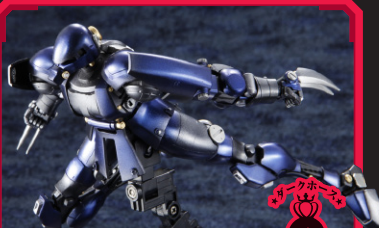


ボトワール **ルーラ・サンタナ**  
ガンブラ **「オロチエビオン」**

ヤマオチオチをモチーフにした特異なシルエットは、ガンダムエビオンの脚部とアップのパーツが生み出した。8本の首がある巨人的なブリッツァーは、相手にその数を認識させる間もなく撃破することが可能だろう。また、既存機体とは大きく異なる操縦感覚をマスターしたルーラ氏のファイターテクニックにも注目だ。

# 大会に風雲急を告げるであろう機体10選!!

V2ガンダムイマジンフルバーニアン以外にも、第8回世界大会には個性豊かなガンブラたちが勢揃い。ガンブラとそのファイターの技術もかけ合わせた総合的な戦闘力に加え、デザインを含めた存在感でも大会を盛り上げるであろう強豪機を、HH編集部独自の視点で紹介!



スペイン **ロベ・エストラーダ**  
ガンブラ **「ザクアッシン」**

機体に敵を斬る「忍者」や「暗殺者」のイメージで生み出された、その名もザクアッシン。アームとレッグパーツを延長し、人間らしいフォルムを強調したのだとビルダーのロベ氏は語ってくれた。しなやかで生々しい、女人好みバトル展開が予想されるだろう。



スイス **ラウリン・ラウテルフルク**  
ガンブラ **「離熱! ゴッドシャッフルガンダム」**

シャッフル高型5体の特長を凝縮させた究極のゴッドガンダムは、ラウリン氏の情に4人目のサブボムンバーが追加し、さらに爆撃を行うのだという。各機体の設計が複雑で可能なだけ詰め込みが、増量でシャッフル同様にまで放つことが可能とすれば、その発熱は計り知れない。



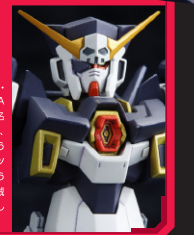
ドイツ **ライナー・チョマー**  
ガンブラ **「ジュアング ローアウトVer.」**

おなじみライナー・チョマー氏の新作は平層用ジュアングクルーズ、バーベキューなど別モードへの変形機構も組み込まれているが、今回掲載の仕様はローアウトカラーということで、本番での実装がうかがい楽しみにしているがチョマー氏は勿体なかったが、どうせあの色なんではないか?



日本 **謎のファイター**  
ガンブラ **「ゲイジックハウンド」**

ガンダムAGE-2ダークハウンドとガンダムAGE-1S/ローをミキシングしたガンブラ。名称に「ゲイジック」を添えているということは、パーツの入れ替えが特化したスタイルのようだ。つまり自機向けでなく、対戦相手のパーツすら奪い取り利用するスタイルなのだろうから、だともすれば、まさにダーゴウハウンドの海賊モチーフらしい性能だが……本機を生み出したビルダーとともに、謎の多い機体である。



日本 **イバラギキ・ジョー**  
ガンブラ **「客伍式備甲機 飛鳥」**

日本を象徴する劇、タンチョウをモチーフとしたこの機体は、ビルダーのイバラギキジョー氏曰く、ガンブラを使いながら、あえてガンダムのこの世界にも属さないオリジナルの世界観を目指し生み出されたのだという。バトルでも独特な戦法を見せるのだろうか、興味は尽きない。



日本 **チアキ・キクメ**  
ガンブラ **「V2ガンダム極」**

武者タイプのカスタマイズが施されたチアキ・キクメ氏のV2ガンダムは、2本の巨大黒刀を背中から構えているのが特徴だ。同じベース種ながら先に紹介したジュリアン氏のV2アマゾンと全く異なる方向性、だからこそガンブラは自由で、最高なものである。



オーストラリア **ピーター・モリス**  
ガンブラ **「メッセラー零」**

メッセラーの複雑な形をあらえて、新し、人型として評定させた思い切りのいいガンブラは、前大会出場者のピーター氏の手によるもの。オミットしたメッセラーの頭部は腰部分へ移植し、ローアウトの頭部と連動するセンサー機能の強化が図られているなど、盛りかりのなまめ世界レベルである。



ポーランド **レオン・シュビルマン**  
ガンブラ **「ヴォルケイノオーストラリア」**

前大会にも参加していたレオン・シュビルマン氏が駆けるのは、ガンダムエクシアのプロト機であるオーストラリアをベースに、エクシアの高速度動作オプション、アヴララチユニットを格納用に変えて武装させたメッセラー機体のガンブラだ。ヴォルケイノの命名に由来にちなみ、最大級の機動力で相手を華麗に粉砕する。